

# 実験資料

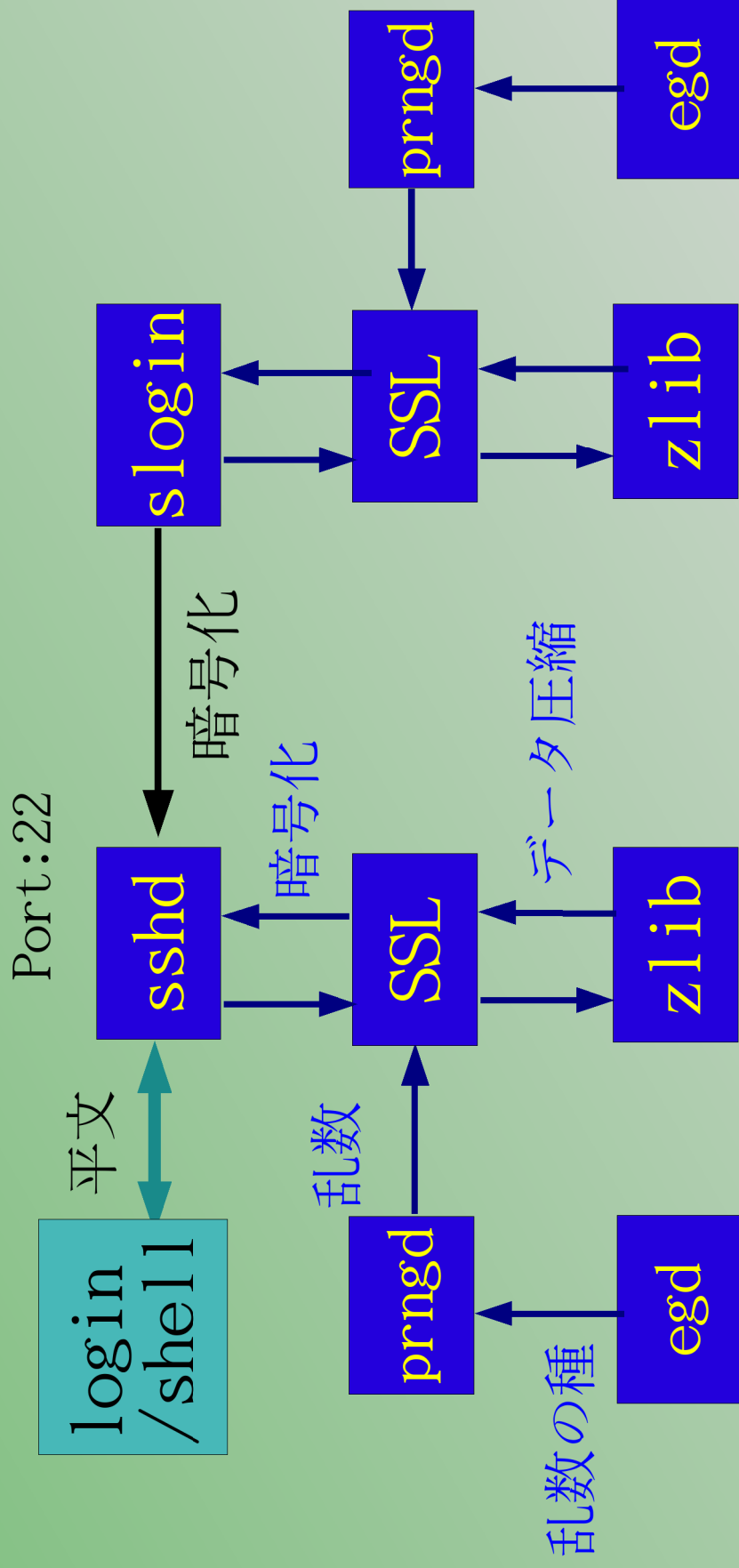
## 「ソフトウェアのインストール」 課題（その2）



# 作業工程記録（例）

1930 入室  
1935 インストール開始  
1952 設定入力終了, コピー開始  
2040 リブート, 追加ソフトウェアインストール  
2122 インストール終了, パッチ開始  
2257 パッチ終了  
2311 egd-0.8 完了  
2313 zlib-1.1.4 完了  
2331 prngd-0.9.25 完了  
2350 openssl-0.9.6g 完了  
2400 openssh-3.4p1 完了  
2410 設定と動作確認完了

# OpenSSH の構成



# コンパイルのポイント (egd-0.8)

手順

```
perl Makefile.PL
```

```
make
```

```
make install
```

確認方法

`/usr/local/bin/egd.pl` がある

ポイント

手順をまちがえないこと

# コンパイルのポイント (zlib-1.1.4)

手順

```
./configure
```

```
make
```

```
make install
```

確認方法

```
/usr/local/lib/libz.a がある
```

ポイント

ar が使われていることを確認する

# コンパイルのポイント (prngd-0.9.25)

---

## 手順

### Makefile 編集

(Solaris-2.6 の CC=gcc 以下 3 行を有効に)  
make

```
cp prngd /usr/local/bin
```

```
cp contrib/Solaris-2.6/prngd.conf.solaris2.6/etc
```

## 確認方法

/etc/prngd.conf がある

## ポイント

prngd は PATH の通ったところへコピーする

# コンパイルのポイント (OpenSSL-0.9.6g)

手順  
./config  
make  
make install

確認方法  
/usr/local/ssl/lib/libssl.a がある

ポイント  
ar が使われていることを確認する

# コンパイルのポイント (OpenSSH-3.4p1)

手順

```
./configure
```

```
make
```

```
make install
```

確認方法

```
/usr/local/sbin/sshd と
```

```
/usr/local/bin/slogin がある
```

ポイント

```
/usr/local/etc/ssh/config を見直す
```

```
(UserPrivilegeSeparation no のコメントを外す)
```

# ディレクトリの意味

FHS (Filesystem Hierarchy Standard) で規定

/bin ... よく使う binary コマンド

/boot ... カーネルやブートローダなど

/dev ... device アクセス用 device file

/etc ... システム設定ファイルなど

/lib ... library 類.

/lost+found ... ファイルシステムエラー時の置場

/sbin ... system 向け binary コマンド

/usr/local ... そのマシン固有のプログラム /opt **へ移行中**

# 動作確認の方法

- `/etc/inetd.conf` を編集  
telnet と login の行をコメントにする  
(先頭に # をつける)
- `inetd` を終了
- `ps -elf | grep inetd` でプロセス番号を調査  
kill プロセス番号
- `inetd` を再起動  
`/usr/sbin/inetd -s`
- `telnet/rlogin` できないことを確認
- `sshd` を起動  
`/usr/local/sbin/sshd`
- 同じマシンから `slogin`  
`/usr/local/bin/slogin localhost`
- ネットワーク経由で `slogin`